

長野の林業

No.
385
2023.1.10

特集

新年のごあいさつ

トピックス

- ・里山整備利用地域活動／にぎやかな森プロジェクト
- ・林業体験研修会
- ・きのこ料理コンクール

コラム

県森連だより

- ・林業士リレーコラム



謹賀新年



《小学校低学年の部》
「華灯」
信州大学教育学部附属松本小学校4年



《小学校高学年の部》
「流木ツリーハウス」
辰野町立辰野東小学校6年



《中学校の部》
「ウッドバーニング」
原村立原中学校2年



《特別支援学校(級)の部》
「春の山小屋」
大町市立大町東小学校3年

「第45回長野県児童・生徒木工工作コンクール」最優秀賞(長野県知事賞)

令和4年11月26日(土)長野県立美術館「ホール」(長野市)において、「第45回長野県児童・生徒木工工作コンクール表彰式」が、受賞者やその関係者の皆様のご参加により開催されました。

今年度は、参加学校数116校、応募点数4017点で、県内各地から子どもたちの力作が数多く出品されました。



長野の林業
フルカラー版



中部森林管理局長

関口 高士



「新しい林業」に向けて

◇新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。皆様方には、健やかに新年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。また、日頃より、国有林野の管理経営につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

◇新年の抱負

林政においては、新型コロナウイルス感染症の影響やウクライナ情勢も相まって不透明な状況が続いていますが、目指すべき方向は固まっています。すなわち、森林・林業基本計画に基づき、森林資源の適正な管理・利用や「新しい林業」に向けた取組の展開、新たな山村価値の創造などの取組を進めていくことです。

特に、伐採から再造林・保育に至る収支のプラス転換を目指す「新しい林業」に向けては、高性能林業機械導入等の取組がある程度進む一方、地拵え、植付け、下刈りといった作業については、効率化・省力化の余地が多分にあると考えられます。

国有林というフィールドで様々な取組にチャレンジし、その情報について皆様と共有できればと考えています。

また、災害対策、木材供給、森林空間の利用等、地元では様々な御要望があるかと存じます。地域に国有林があつて良かったと言われるよう、取り組んでまいります。

◇関係者へのメッセージ

林業県長野には、森林・林業に関する様々な知恵が蓄積されていると思います。皆様と共に知恵を出し合い、豊かな森林を次世代に残していければと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

結びに、皆様方の益々の御健勝と御多幸を祈念し、新年の御挨拶とさせていただきます。



長野県林務部長

吉沢 正



新年のごあいさつ

◇新年のごあいさつ

新年明けましておめでとうございます。日頃から県の森林・林業行政の推進にあたり、格別な御支援、御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

◇新年の抱負

今年、長野県総合5か年計画、森林づくりの方向性や施策展開を定めた「長野県森林づくり指針」、そして第4期の森林づくり県民税が同時にスタートする節目の年となります。

本県の民有林人工林は8割が50年生を超え、育てる時代から利用の時代を迎えています。2050カーボンニュートラルの実現や、将来にわたり持続的に木材を生産、利用できる森林・林業の推進が求められています。

このため、若い森林に更新するための再造林の加速化や林業を支える担い手の確保・育成、林業の生産性や経営力の向上、県産材の安定的な供給体制の確立などに関し、着実に取組を進めてまいりたいと考えております。

◇関係者へのメッセージ

先人たちのたゆまぬ努力により育まれてきた森林の多面的機能は、人々の暮らしを守り、ゆたかな社会を創るうえで欠かすことのできないものです。今後とも、林業・木材産業関係の皆様や市町村関係者、県民の皆様とともに、森林づくりや林業・木材産業の一層の発展に取り組んでまいります。

本年が、皆様にとって良き一年となりますことを心から祈念し、新年の御挨拶いたします。



長野県森林組合連合会
代表理事 会長
藤原 忠彦



森林が支える 持続可能な未来

◇新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆様方には、日頃から長野県森林組合連合会及び県下18森林組合の活動にご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

世界的に持続可能な社会づくりが言われ、森林・林業への期待が高まっている中、新型コロナウイルスの感染拡大に加え、昨年2月から続くウクライナ情勢を背景にウッドショックと呼ばれる状況が生まれました。木材需給はまだまだ不安定で先行きが不透明な状況です。

◇新年の抱負

健全な森林環境の保全と成熟した森林資源の活用に向けて、地域林業の中核的な担い手である森林組合はこれまで以上にその役割を發揮することが求められています。こうした期待に応えていくためには、中長期的な人材の確保・育成と林業現場の労働安全の徹底が不可欠であるとともに、林業においても多様な働き方や技能検定制度の導入など人への投資を進める必要があります。また、循環型林業の原動力となる木材利用の拡大と高付加価値化を進めることが重要です。

県森連としては、長野県産材の需要拡大を訴え、山への還元を増やすよう努めてまいります。また、研修会や指導監査を通じて、森林組合の取り組みの支援をしていくほか、林業DXを実現するための環境整備と情報発信を引き続き進めてまいります。

◇関係者へのメッセージ

豊かな森林を未来へ引き継ぐため、森林組合系統一丸となって課題に取り組みでまいりますので、引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、世界の平和を願うとともに、本年が林業関係業界にとって災害の無い、幸多き一年となりますよう祈念申し上げます。



長野県木材協同組合連合会
理事長
宮崎 正毅



木材利用による循環型社会 の実現を確かなものに

◇新年のごあいさつ

令和五年の新春を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。皆様方には、当連合会の活動に対しまして、御支援と御協力を賜っておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

昨年は、一昨年のウッドショックに引き続き、ロシアのウクライナ侵攻、記録的な円安など予測不能な事態によりまして、海外の資源に頼るリスクが強調され、外材に頼らない国産材主体の需要形態に移行することが、さまざま観点から重要となっております。

国内の森林は、人工林を主体に充実しつつあり、資源的にはその期待に応えることは充分可能な状況にあります。

これを契機に主伐を進め、「植えて、育てて、伐つて、使う」循環システムの構築を関係者一体となって、早期に実現する必要があると考えています。

◇新年の抱負

人口減少に伴い、国内の住宅着工数は、毎年3%程度減少すると予測するシンクタンクもある中、木材の新たな需要先として、非住宅分野に
関係者の熱い視線が注がれています。

かつての非住宅への木材利用は、建築基準法の改正による規制緩和により、木造でできる範囲が広がり、それを大断面集成材などの技術開発が後押しして、各地に木造ドームなど規模の大きな施設が建てられてきました。また、建築コストの課題もありそのブームは過ぎ去っていきま

した。現在の中高層ビルディングなど大規模施設の木造木質化の動きは、脱炭素の御旗の下、大規模資本による木材耐火製品の開発に支えられ、数年前から始まっていますが、過去の反省を踏まえ、一過性のものとならないよう木材を適材適所に使う考え方により、広く社会に浸透していくことを期待するものです。

◇関係者へのメッセージ

わたくしたち長野県木材協同組合連合会におきましても、協同組合の理念に基づき、関係者間の信頼関係の構築に努め、木材の利活用を通して、循環型社会の実現に汗をかいてまいりたいと考えております。

結びに、長野県の森林・林業・木材産業の発展と皆様方の御健勝と御多幸を心より御祈念申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。

里山を通じて地区住民が一体に

〈松本市島内山田地区 里山整備利用推進協議会の活動〉

松本市島内山田地区は、市内の北部丘陵地に位置する海拔約八百mの集落で、その周囲には多くの野鳥や昆虫が生息する自然豊かな里山が広がっています。

里山整備利用地域として

当地区では、十年余前から森林組合への委託と住民自らによる作業で、里山における計画的な森林整備を行っており、令和元年には、ほぼ全戸数及び不在者多数を含め構成された当協議会を構成し、県下五十番目の里山整備利用地域に認定されました。

毎年、協議会員による林内の作業道や歩道（自然観察道）の刈り払い、倒木除去、鳥獣害防護柵の修繕、さらに近年は、天然木（巨樹）への標識設置、山野草や生息する動植物、昆虫の調査など、里山を通じ幅広い活動が行われています。

後世への伝承を目指して

松本市街地の比較的至近でありながら、当地区は先人により里山が守られ、炭焼きも行われていました。引き続き里山を通じた地区住民の交流により、里山が地区の資源として活用されて行くよう期待されています。



自然観察道調査



防護柵修繕



巨樹 標識設置

【松本地域振興局林務課】

「にぎやかな森プロジェクト」上小の林業課題・調査研究活動について

上小森林認証協議会では、上田地域のSGEC認証森林9,500haを活動場所として、令和3年度から調査研究活動を柱とする「にぎやかな森プロジェクト」に取り組んでいます。「いきものや人でにぎわう、地球にいい森づくり」を目指し、「にぎやかな森プロジェクト」と命名しました。環境・経済・社会の3側面からみた持続的な森林経営のための実践と学びのモデルづくりに取り組んでいます。

調査研究活動は、上小森林認証協議会の構成団体・十三団体の協力を得て、上田地域4市町村、信州上小森林組合、上小林業振興会、上田地域振興局職員で構成された調査研究チームが主体となって進めています。課題の専門性から、筑波大学山岳科学センター菅平高原実験所、県林業総合センター、県環境保全研究所、県林業コンサルタント協会、やまぼうし自然学校等より技術協力を受けています。

令和4年度は、長期的継続課題4課題（①生物多様性評価、②カラマツ天然更新、③森林のCO₂吸収量評価、④カラマツ丸太強度試験）に加え、現場から提起された課題や地元企業等からの提案課題解決のための活動にも取り組んでいます。

プロジェクトの趣旨に賛同いただき、森林の里親協定（3年間）締結によりこの活動を支援していただいている企業は、これまでに十一社となりました。企業からの協定申し出は今後も見込まれ、私たちの取組みが地元企業等にとっても重要な関心事となつていきます。調査研究活動に課せられた使命は大きいと感じています。今後も、地元企業の皆様と情報共有しながら、地域課題の解決に取り組んでいきます。

にぎやかな森プロジェクト実施協定締結企業

齋藤木材工業株式会社（長和町）
株式会社フジカーランド上田（上田市）
宮原酸素株式会社（東御市）
株式会社オムニア・コンチエルト（東京都）
日本システム販売株式会社（上田市）
秀プロデュース株式会社（上田市）
株式会社はたらクリエイト（上田市）
日置電機株式会社（上田市）
株式会社ミマキエンジニアリング（東御市）
山洋電気株式会社（東京都）
株式会社長野銀行（松本市）

(R4.12.31現在)



生物多様性評価調査 主伐予定地の昆虫調査(R4.10.4)

【上田地域振興局林務課】



林業のイメージを変えてくれる体験を 10・19 下伊那農業高校林業体験研修会

南信州林業研究会では、毎年下伊那農業高校のアグリサービス科2年生を対象に林業研修会を行っています。今年は飯田市北三区財産区のご協力の下、飯田市街地から近い里山にて開催しました。

この研修で特に生徒の関心が高いのが、ツリークライミングの見学・体験です。ツリークライミングの元日本チャンピオンでもある松岡秀治さんが、木を傷つけないようにロープを使って桜の巨木に軽々と登り、高所の枝から枝への移動やロープに体を預けて枯れ枝を伐る姿を見せてくれました。また体験では、ロープで安全に登るポイントを丁寧に教えてもらった後に実践しましたが「(頭では)わかっているけど身体が思ったように動かない」との声や、目を輝かせてロープにしがみつき登る姿があり、身近な里山で行われる木の伐採技術などに触れる貴重な体験になったようでした。

研究会では、こうした活動を通して「カッコいい」や「凄い」を伝え「感動」や「達成感」を味わって欲しいと、毎年、内容を検討し行っています。森林や林業に接する機会が少ないなか、進路の選択肢として興味や関心を持つてもらえるように今後も工夫を凝らした研修を行い、人材育成に取り組んで参ります。



ツリークライミング体験
「樹上からの眺めは気持ちいい！」



生徒が育てた野菜と豚肉を使った豚汁も味わいました



木の切倒し方を学び、玉切り作業を行いました

【南信州地域振興局林務課】

令和4年度 治山・林道コンクールの表彰

(二社)日本治山治水協会・日本林道協会主催令和4年度治山・林道コンクール表彰式が、11月16日、東京都千代田区平河町「海運クラブ」において開催され、左記の通り受賞されました。

◇第45回林道維持管理コンクール(敬称略)
農林水産大臣賞
虫川新野峠線 天龍村長 永嶺誠一

◇第23回民有林治山木材使用工
コンクール

(二社)日本治山治水協会会長賞
機能強化・老朽化対策事業第12号工事
諏訪地域振興局 林務課

長野県治山林道協会 事務局
〒380-8567 長野市岡田町30-16
(026)228-5571

令和4年度スローガン

- ❖ 流域治水との連携・山地防災力の強化に向けた治山対策の推進
- ❖ 森林づくりは道づくりから 災害に強い路網整備の推進



残存型枠・筋工における県産材の積極的な活用
(富士見町機能強化・老朽化対策事業第12号工事)



維持管理活動(虫川新野峠線)

長野県きのご料理コンクールが開催されました

過日、令和4年度長野県きのご料理コンクールが、信州きのご祭り推進協議会の主催で開催されました。同コンクールは、自然食品、健康食品として注目されるきのこを材料にした、アイデアに富む料理を募集し、優秀な作品を選奨するとともに、広く公開してきのこの消費拡大を目的とするコンクールです。

長野県きのご料理コンクール受賞者一覧 (敬称省略)

賞	作品名	出品者
最優秀賞	ご飯が進む! 3種のきのこの油淋鶏風	山崎 愛生
優秀賞	きのこ沢山! とんべい焼き	東山 千紗
優秀賞	きのこのポテト春巻き	酒井 春香
優秀賞	揚げないサクサクまいたけコロッケ みそソース添え	嘉部 祐花
優秀賞	曾祖母に贈る 思い出のがんもどき煮	毛呂 叶実

本年度は応募総数21点の中から、審査員(長野調理製菓専門学校石坂豊明校長他5名)が、おいしさやアイデアの斬新さ、普及性等を審査し、最優秀賞他4点を選

最優秀賞 「ご飯が進む! 3種のきのこの油淋鶏風」



出しました。最優秀賞に輝いた山崎愛生さんの「ご飯が進む! 3種のきのこの油淋鶏風」は、ぶなしめじ、エリ

ンギ、まいたけの3種類のきのこの鶏肉に見立てて揚げ、とろみをつけたタレをたっぷり掛けた作品。審査員からは「アイデア抜群」「鶏肉を使わずにきのこを主役としていけるのがいい」「他のきのこにも応用できるレシピ」と賞賛コメントをいただきました。選出された受賞品のレシピは、コミュニティウェブサイトの「クックパッド」長野県公式キッチンに掲載していく予定です。

クックパッド
長野県公式キッチン
はここから



【信州の木活用課】

災害に備える森林保険

冬期の積雪による幹折れや雨水害、春先の森林火災が心配...

森林保険に加入しておけば安心です!



[長野県 1ha当たりの代表例] 樹種毎の標準的な保険金額と保険料 (保険期間: 平成31年4月1日~)

契約時 林 齢	カラマツ			ヒノキ		
	保険金額 被災時の 受取額	1年分	5年分 一括払	保険金額 被災時の 受取額	1年分	5年分 一括払
1年	80	3,432	20,296 〔割引額 2,439円〕	101	4,332	27,444 〔割引額 3,356円〕
2	92	3,946		119	5,105	
3	108	4,633		144	6,177	
4	119	5,105		166	7,121	
5	131	5,619		188	8,065	
26	177	5,699	25,647 〔割引額 2,848円〕	299	9,627	43,325 〔割引額 4,810円〕
27	177	5,699		299	9,627	
28	177	5,699		299	9,627	
29	177	5,699		299	9,627	
30	177	5,699		299	9,627	



加入して
よかった

保険料の一例です。保険加入は20年生、50年生など、いつでも可能です。保険加入契約は、1年毎よりも割引のある5年分・10年分など一括契約がお得です!

【問い合わせ先: 長野県森林組合連合会 (TEL 026-226-2504)、またはお近くの各森林組合へ】

<長野県林務部森林づくり推進課>



「緑の募金」にご協力ありがとうございました

令和4年の募金額は速報値で約 7300 万円になりました。ご寄附いただいた緑の募金は、里山の手入れ、学校・公園等の緑化、みどりの少年団の育成などに活用させていただきました。



小学校敷地内にある桜並木の桜の葉を用いてお菓子を作りました



里山で小学生が枝打ちを体験しました



長野県植樹祭でみどりの少年団が苗木を植栽しました



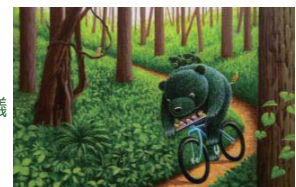
みどりの少年団は校庭の木でツリークライミングを体験しました

「緑の募金」への寄附は
SDGsに貢献することにもなります
寄附された企業等様にはステッカーを配付
しています。



～新刊絵本発刊のお知らせ～

森のくまさんシリーズ 第4弾
舞台は北アルプス地域
くまさんと子どもたちは、不思議な植物を見つけたり、自転車で森を駆け抜けたりと冒険の連続



♪ 令和5年3月発刊予定 おたのしみに♪



公益財団法人 長野県緑の基金
長野市大字南長野字幅下692-2
長野県庁 林務部森林づくり推進課内
TEL026-232-0111 (内線 4818,4819)
Eメール green@midori-joho.gr.jp



林業士 リリースコラム

このコーナーでは、
林業士の活動状況などを
リリース形式でお届け
していきます

一昨年から上伊那林業士会会長と県林業士会理事を務めております矢島秀樹です。本職は建設業で在来工法の建築大工ですが、間伐、伐採などの仕事もあり林業にも携わっております。私の祖父、父親が大工で、また父親は伐採なども行っており、その姿を見て自分でもやりたいと思えば家業の矢島建設に入り現在に至ります。

そもそもなぜ林業士を目指したのかというと、御柱祭の杣職（そましやく）に携わりたいと思ったからです。杣職とは御柱の根離し（伐採）をする人達を指します。林業士を取り地域の中核的人材になれば、地域の方々とつながりやすくなり、信頼関係ができ、後継者の育成にも貢献できるからです。

ここで少し御柱の話させてください。自分の地区にも諏訪大社と同様に御柱祭があり、諏訪の一年後、つまり今年の5月の連休に

行われます。今回担当する柱は一之柱と四之柱で、目通り（目の高さ）の位置で測った周囲長）は一之柱が3m、四之柱が2・2m。根離しも自分達で行います。今回その杣長（そまぢやう）をやらせて頂いて、同職の皆様と無事安全に根離しする事が出来ました。その職の中には同じ上伊那林業士会の3人の仲間がおり、同じ地区に住んでいて担当する柱も一緒です。

本題に戻りますが、上伊那林業士会の活動としては主に上伊那農業高校の間伐実習になります。実習生は、以前は緑地創造科の40名程度でしたが、現在はコミュニケーションデザイン科里山コースの20名程度となっています。講師1人につき4名程度に分かれて行います



チェーンソーの掛け方を教えています

ので5班位になりますね。実習の目的は各生徒のチェーンソーの操作・整備、立木の伐倒技術、枝打ち技術の習得です。2日間にわたり行いますが実習内容などは各講師に任せてあるのでさまざまです。自分の教え方として、少しでも多くチェーンソーを生徒に使わせてあげたいと思い、基本的操作説明の後は切らせるようにしています。いつもそうですが1人1、

2本伐倒させていきますね。2日目の午後になればかなり技術が上達するので、時間があれば簡単なイスを制作し、学校に持って帰る生徒もいますね。また、本業が大工なので、この立木は何に使った方が良いかなど、独自の視点からも話をしていきます。この実習を通



伐倒方向の向きなど説明中です

じて、生徒達が「林業って面白い」と、少しでも林業に魅力を感じて、将来の就職先の選択肢の1つになれば良いと思っています。こういった実習は、後継者の育成はもちろんです、自分自身のスキルアップにも繋がりますので、引き続き地域での活動を頑張っていきたいと思っています。

プロフィール

矢島秀樹 49歳
長野県林業士会理事
上伊那林業士会会長
池田工業高校建築科、松本技術専門学校建築科卒業後、家業の矢島建設に従事し現在に至る。
建築経歴30年
林業経歴20年
平成25年3月 林業士 認定



林業士とは？

地域の森林林業現場で主体的に活動する方を増やし、林業の活性化を図るために昭和48年から長野県が認定しているもので、県下各地で「地域林業の中核的人材」として活躍しています。

もり

みんなでトライ♪

森のめいろ

森林から木材などの恵みを生産する林業は、伐って、使って、植えて、育ててを繰り返す持続可能な循環産業です。

このサイクルがバランスよく回ることで、森林の公益的機能がより良く発揮されます。めいろを解いて林業のサイクルを回しましょう！

抽選で5名様に特製カレンダーをプレゼントいたします！

途中にある文字を3つ集めてキーワードを当てよう！

ハガキまたはメールに、

①氏名②住所③電話番号④キーワード⑤長野の林業の感想を記入し下記までご応募ください。

<応募締切>令和5年2月15日(水)必着

<応募先>長野県森林組合連合会

〒380-8567 長野県長野市岡田町 30-16

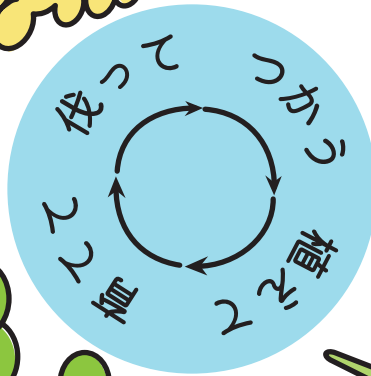
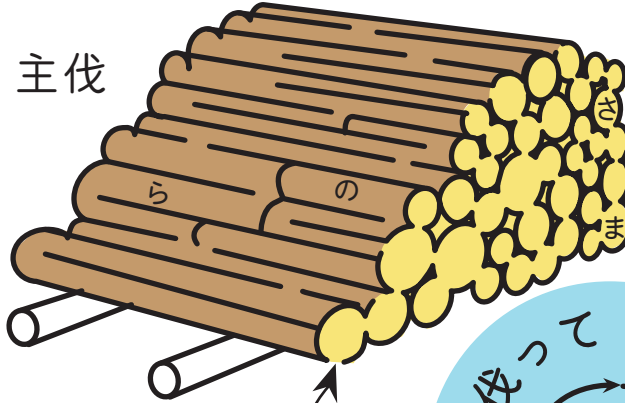
長野県林業センタービル3階

Email: sido3@naganomoriren.or.jp

※当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。いただいた個人情報は本目的以外には使用しません。



主伐



木材利用

GOAL

未来のために
再造林♪

START



キーワードは、



植栽



※長野県森林組合連合会 HP にてカラー版を配布しています。



木育と木工から 木材利用の未来を 考える一日

長野県林業職員協会県大会
in 木曽町

2022年12月8日、木曽町の木曾おもちゃ美術館・木工振興拠点で、令和4年度長野県林業職員協会県大会が開催されました。

新型コロナウイルス感染症拡大対策を取る中、会員の森林組合職員、市町村林務担当者など県内各地から73名が参加しました。

「木曾おもちゃ美術館」は旧黒川小学校を活用した「ふるさと体験館」を改装し、東京おもちゃ美術館の総合監

修の下、全国で10番目の「おもちゃ美術館」として11月19日にオープンしました。

入口にあるシンボルツリーである樹齢約250年の木曾ヒノキのほか、木曾町産材をふんだんに使った館内が印象的で、ごっこ遊びができる遊具も全て木で可愛く作られています。

参加者は童心に帰り、子どもから大人までを対象に、木材や木製品との触れ合いを通じて木の文化への理解を深め、木材の良さと利用の意義を学ぶ「木育」について知見を深めました。



▲木工振興拠点コウサクバで、(株)木曾谷 kousaku 小瀬木取締役から説明を受ける一行

えごまタレが美味しい！▶



▲ふるさと体験での五平餅づくり
会員同士和気あいあいと木曾谷の味を楽しんだ

ふるさと体験では「五平餅づくり」と「木のスプーン制作」で手を動かしながら会員同士の親睦を深めました。

木の文化が根づく木曾谷での木育や木工の取り組みに大変刺激を受ける一日でした。



おもちゃ美術館に隣接する「木工振興拠点コウサクバ」では、CNCマシニングセンターなど最新の木工機械を駆使し、木曾産材のヒノキを使った合板を活用した特注家具の開発を行い、新たな木材利用を提案しています。

また、木曾青峰高校や県立上松技術専門校の卒業生も職人として活躍しており、地元の木材の活用が雇用創出にも繋がっています。

今回は、元長野県職員で「CS立体図」を開発するなど地形解析や山地防災の専門家である、株式会社ジオ・フォレスト代表取締役の戸田堅一郎氏を講師に招き、ゾーニングの考え方や地形判読、CS立体図の活用方法等について学び、林野庁が開発した森林ゾーニングツール「もりぞん」を使って防災面と収益性の観点から森林のゾーニングを行う方法について習得しました。また、2日目の午後はグループワークを行い、地形データや航空レーザータ、既存の写真データ、インフラデータ等手に入るデータをかき集めてQGIS上でそれらの情報を基にゾーニングと提案を各班で作成し発表する、大変充実した研修会となりました。

近年、スマート林業技術は目覚ましい進歩を遂げており、各経営体においてもドローンやGNSS受信機といったスマート林業技術の導入が進んでいます。取得したデータや既存の情報の活用が思うように進んでいない現状があります。

2022年11月17日～18日の二日間、安曇野市のもりりゅう館で『地形から読む 林業適地・不適地ゾーニング研修会』を開催し、県内の森林組合や林業経営体、県職員など25名が参加しました。

今回は、元長野県職員で「CS立体図」を開発するなど地形解析や山地防災の専門家である、株式会社ジオ・フォレスト代表取締役の戸田堅一郎氏を講師に招き、ゾーニングの考え方や地形判読、CS立体図の活用方法等について学び、林野庁が開発した森林ゾーニングツール「もりぞん」を使って防災面と収益性の観点から森林のゾーニングを行う方法について習得しました。また、2日目の午後はグループワークを行い、地形データや航空レーザータ、既存の写真データ、インフラデータ等手に入るデータをかき集めてQGIS上でそれらの情報を基にゾーニングと提案を各班で作成し発表する、大変充実した研修会となりました。

地形から読む 林業適地・不適地ゾーニング研修会



令和4年度 木材センター記念市



▲伊那木材センターの記念市当日の様子
※裏表紙に記念市の様子を市況グラフとともに写真付きで紹介しています。

11月14日から16日にかけての3日間、長野県森林組合連合会の各木材センターにて、当会の販売事業の一大イベントである「記念市」が行われました。森林組合をはじめ、多くの出荷者様から優良材をご出品いただき、関係者の皆様には厚く御礼申し上げます。

中信木材センター（11月14日）では、広葉樹を中心に応札活発な市売となり、大径材には高値が付きましました。販売量は5,780³mでした。伊那木材センター（11月15日）では、ヒノキ元玉良材や広葉樹良材に応札が集中し、カンバ5.4m（末口52cm）に200,000円/³mの値が付くなど活気ある市売になり、販売量は3,075³mでした。北信木材センター（11月16日）では、カラマツ高齡級材や広葉樹大径・優良材が多数出品され、他木材センター同様に活発な市売になり、販売量は8,811³mでした。

初市は1月17日からです。本年も出品のご協力をよろしくお願いいたします。

2023年 長野県内木材市売日程

飯伊 長野県 森林組合 連合会				木曾官材市売協同組合			
森林組合 木材共販所		伊那木材 センター		中信木材 センター		北信木材 センター	
本部（製品）		荻原（原木）		坂下（原木）		国有林土場等活用 委託販売（原木）	
初市	初市	初市	初市	1月	初市	初市	初市
19日（木）	18日（水）	17日（火）	18日（水）	28日（土）	31日（火）	12日（木）	11日（水）
16日（木）	8日（水）	優良材特別市 7日（火）	広葉樹祭り 8日（水）	2月	特選材市 18日（土）	21日（火）	1日（水） 15日（水）
16日（木）	8日（水）	7日（火）	8日（水）	3月	特選材市 18日（土）	22日（水）	1日（水） 15日（水）
13日（木）	12日（水）	11日（火）	12日（水）	4月	花まつり 15日（土）	春季謝恩市 18日（火）	5日（水） 春季謝恩市 20日（木）
18日（木）	10日（水）	9日（火）	10日（水）	5月	特選材市 20日（土）	23日（火）	11日（木） 9日（火）
15日（木）	14日（水）	13日（火）	14日（水）	6月	特選材市 17日（土）	20日（火）	1日（木） 15日（木）
13日（木）	12日（水）	11日（火）	12日（水）	7月	第56回 木材まつり 29日（土）	19日（水）	5日（水） 中元謝恩市 20日（木）
24日（木）	9日（水）	8日（火）	9日（水）	8月	特選材市 26日（土）	29日（火）	3日（木） 24日（木）
14日（木）	13日（水）	12日（火）	13日（水）	9月	特選材市 16日（土）	20日（水）	7日（木） 開設25周年記念市 21日（木）
19日（木）	11日（水）	10日（火）	11日（水）	10月	開設56周年記念市 14日（土）	創立68周年記念市 17日（火）	5日（木） 19日（木）
16日（木）	開設62周年記念市 14日（火）	開設61周年記念市 13日（月）	開設65周年記念市 15日（水）	11月	特選材市 11日（土）	14日（火）	9日（木） 22日（水）
20日（水）	13日（水）	12日（火）	13日（水）	12月	納市	納市	納市
					9日（土）	12日（火）	13日（水） 5日（火）

市売の最新情報については、各事業所にお問い合わせいただくか HP をご覧ください。



謹賀新年



一般社団法人
長野県林業経営者協会
会長 林和弘

一般社団法人
長野県林業普及協会
会長 林和弘

長野県木材協同組合連合会
理事 宮佐 佐原 正毅
副理事 宮崎 良彦
副理事 新井 照彦
副理事 柴井 藤幸
専務理事 松本 昌志
事務局長 本田 寿弘

長野県森林組合連合会
代表理事 藤原 忠彦
副会長 林 幸和
代表理事 高井 幸弘
常務理事 櫻井 肇

一般社団法人
長野県林業センター
理事 藤原 忠彦
副理事 宮崎 正毅
副理事 水本 豪
常務理事 宮宣 敏

長野県山林種苗協同組合
理事長 神戸直日
組合員一同

信州木材認証製品センター
理事長 宮崎 正毅
副理事長 鈴木 吉彦
副理事長 高木 明彦
専務理事 柴田 幸生
事務局長 松本 寿弘

林業・木材製造業労働災害防止協会
支部長 宮崎 正毅
副支部長 高田 生彦
幹事 柴田 幸生
事務局長 阿部 彦志

長野県林業団体協議会
会長 高田 幸彦
副会長 藤原 忠毅
副会長 宮崎 正豪
副会長 水本 豪

一般財団法人
長野県林業労働財団
理事長 山口勝也
役員一同

長野県森林組合長会
会長 林和弘

長野県造林協会
会長 藤原忠彦

長野県治山林道協会
会長 羽田健一郎
役員一同

長野県林業薬剤防除協会
会長 牧司

森林・林業の総合アドバイザー
一般社団法人
長野県林業コンサルタント協会
理事長 羽田健一郎

長野県生産森林組合等
団体有林連絡協議会
会長 鮎澤光昭

長野県林業士会
会長 飯森幸彦

長野県林業研究グループ
連絡協議会
会長 田中 忠

長野県特用林産振興会
会長 林和弘

長野県水源林
造林協議会
会長 白鳥 孝



謹賀新年



長野国有林森林整備協会

会長 由井 正弘
副会長 林 井 隆三
専務理事 酒井 省三
長野市稲葉母袋沖六一二二一
TEL (〇二六) 二八五九〇七〇
FAX (〇二六) 二八五九〇七二

農林中央金庫

部 長 黒川 勝博
関東業務部

南佐久北部森林組合

代表理事 佐々木 勝
組合長

南佐久中部森林組合

代表理事 黒澤 和夫
組合長

南佐久南部森林組合

代表理事 由井 明彦
組合長
レストラン 四季の味 樹木里

佐久森林組合

代表理事 山岸 喜昭
組合長
役員一同
緑を育て山を守る

信州上小森林組合

代表理事 倉沢 明人
組合長
役員一同
緑の担い手

佐久森林林業振興会

役員一同

上小林業振興会

会長 羽田 健一郎
役員一同

諏訪地域森林づくり 林業振興会

役員一同

上伊那山林協会

役員一同

下伊那山林協会

役員一同

木曾山林協会

会長 大屋 誠
役員一同

諏訪森林組合

代表理事 藤森 良隆
組合長
役員一同

上伊那森林組合

代表理事 白鳥 孝
組合長
役員一同
もりもり上伊那

飯伊森林組合



代表理事 林 和弘
組合長 吉澤 悦史
常務理事
役員一同

根羽村森林組合

代表理事 大久保 憲一
組合長
役員一同
信州根羽すぎ・根羽ひのき
下伊那郡根羽村四〇七一一〇
☎ (〇二六五) 四九一二二〇〇

松本地域森林 林業振興会

役員一同

北佐久木材協同組合

理事長 新井 藤弘
組合員一同
事務所 小諸市大字平原四ツ谷原九六七一七
☎ (〇二六七) 二二一一二一〇
FAX (〇二六七) 二四一〇六八三

上小木材協同組合

理事長 小林 基英
組合員一同
上田市芳田一八一八一
☎ (〇二六八) 三五一一四〇〇



謹賀新年



南安曇木材協同組合

理事長 佐原 良彦
安曇野市穂高七九四〇一七
☎(〇二六三) 七二二二〇〇

飯伊木材協同組合

理事長 澤 柳 浩成
事務局 飯田市常盤町三〇
☎(〇二六五) 三三一三二六一

北信木材生産センター協同組合

代表理事 竹 下 元治
長野市大字穂保字中ノ配三四二

木曽南部森林組合

代表理事 坂 家 重吉
組合長 坂 家 重吉
役員一同

長野森林組合

代表理事 村 石 正郎
組合長 村 石 正郎
役員一同

瑞穂木材株式会社

木材製材販売・住宅資材販売
代表取締役 宮 崎 正毅
下高井郡木島平村大字穂高三三八一
☎(〇二六九) 八二一三一八
FAX(〇二六九) 八二一四一五六

宮澤木材産業株式会社

代表取締役 宮 澤 遥
長野市曾根二一八八一五
☎(〇二六三) 三九一〇五八八
FAX(〇二六三) 三九一〇五八八
環境事業部 ☎(〇二六) 三三九一三二六〇
FAX(〇二六) 三三九一三二五二

齋藤木材工業株式会社

ハイグレード集成材 信州唐松丸
代表取締役社長 齋 藤 健
〒386 0603 長野県小県郡長和町古町四二九四
TEL(〇二六八) 六八一三五三五
FAX(〇二六八) 六八一〇二〇二

南木曽町森林組合

代表理事 堀 賢介
組合長 堀 賢介
役員一同

株式会社 吉本

代表取締役 由 井 正隆
南佐久郡佐久穂町大字平林二二一
☎(〇二六七) 八六一四三〇五
FAX(〇二六七) 八六一五五四四

日本林業土木(株)

長野出張所
所 長 小林 辰男
長野市岡田町三〇一八
長野県林業センタービル内
☎(〇二六) 二二七六一八五

みどり産業株式会社

代表取締役 篠 原 明
本社 長野市大字稲葉二四二三
長野県林業センタービル
☎(〇二六) 二二四一八七〇
FAX(〇二六) 二二三一七九八九

日本森林技術協会

一般社団法人
長野事務所 所長 油井 章次郎
長野市岡田町三〇一八
☎(〇二六) 二二七一五六〇

株式会社 中部森林技術コンサルタンツ

建設コンサルタント
(森林整備・治山・林道環境事業等
森林の総合調査設計)
支店長 長谷川 洋
長野市稲葉中千田沖二〇四〇一
☎(〇二六) 二二四一八七一〇

株式会社 飯田綜合木材センター

代表取締役 松 下 勝彦
長野県飯田市堀切石四三三六七番地
TEL(〇二六五) 三三二二七七
FAX(〇二六五) 三三一五五六七

木曽官材市売協同組合

理事長 勝 野 智明
長野県木曽郡上松町正島町二四四五
TEL(〇二六四) 五二一四八〇
FAX(〇二六四) 五二一三三二四

竹村工業株式会社

国内産ヒノキ間伐材使用
高圧木毛セメント板製造・販売
下伊那郡松川町上片桐四六〇四
TEL(〇二六五) 三六八六一一
FAX(〇二六五) 三六八六五五五

松本広域森林組合

代表理事 吉 田 満男
組合長 吉 田 満男
役員一同

信州の木認証合板で地産地消の緑の循環



針葉樹合板のパイオニア
林ベニヤ産業株式会社

(本社) 06-6228-1401
(七尾工場) 0767-52-4376
(舞鶴工場) 0773-68-0306
(北陸営業所) 0767-52-4376

謹賀新年



北信州森林組合

代表理事 清水 侃
組合長 清水 侃
役員一同

栄村森林組合

代表理事 櫻 沢 俊 一
組合長 櫻 沢 俊 一
役員一同

長野地方緑化推進委員会

会 長 山 村 弘
役員一同

平澤林産有限公司

立木買取り・生産販売・支障木処理
特殊材注文販売・産業廃棄物処分業
木材森林整備認定事業者
代表取締役 平澤 照雄
長野県伊那市西春近四一〇五番地
TEL (0265) 781-2228
FAX (0265) 761-5775

有限会社 高遠興産

素材生産事業、森林整備事業
代表取締役 林 敏行
〒396-0023 長野県伊那市山寺一五五八一
☎ (0265) 961-0073
FAX (0265) 718-3018

一般社団法人

長野県猟友会

会 長 竹 入 正 一

まつのじょうろ

グリーンプラマーク取得
松くい虫防除シートは
地球にやさしい
生分解性プラスチック製の
くん蒸用被覆シート
信濃化学工業株式会社
〒381-0045 長野県長野市桐原1-2-12
TEL 026-243-1115
FAX 026-243-1520

大栄産業株式会社

唐松・杉・桧各種素材丸太・製材品
組建物・看板・加工一般・施工一式
新型インサイジング
(角材及び円柱可能)
防腐加圧処理(ACQ・その他)
※加圧処理は、長さ160mまでできます
ウッドレリーフ製作
松本市波田二九五一―一三七
☎ (0263) 921-5051
FAX (0263) 921-5809
ホームページアドレス <http://www.daiisogy.co.jp>

株式会社 モリレン長野

損害保険代理店
環境事業計画施工・墓石
代表取締役 田中 高德
専務取締役 室賀 秀樹
長野市中御所岡田町三〇一六
☎ (026) 267-1636
FAX (026) 266-1018

株式会社 キーテック

代表取締役社長 中西 宏一
〒136-0082 東京都江東区新木場一七二二
TEL (03) 553-4137
<http://www.key-tec.co.jp>

株式会社 酒井工業所

サンドキーパーマット
SN緑化万能マット
カゴ枠・大型カゴ枠・パネルフトン巻
松本市村井町南三丁目一〇番一四号
☎ (0263) 581-3200
FAX (0263) 861-3881

東信木材センター

カラ松日本一を目指します
協同組合連合会
小諸市甲字鞍掛四七四七
TEL (0267) 231-0887
FAX (0267) 231-2933

北アルプス森林組合

代表理事 割田 俊明
組合長 割田 俊明
役員一同

木曾森林組合

代表理事 原 久仁男
組合長 原 久仁男
役員一同

王滝林業有限公司

素材生産請負・森林整備
立木買付・生産販売
取締役社長 西路 明
木曾郡王滝村四五六三十二
☎ (0264) 481-3633
FAX (0264) 481-3633

オガサワラ林業有限公司

森林整備 素材生産(産廃) 収集運搬業
支障木伐採、処理、薪販売
代表取締役 小笠原 良一
松本市中山四一三五―四
☎ (0263) 581-5939

東信素材生産事業協同組合

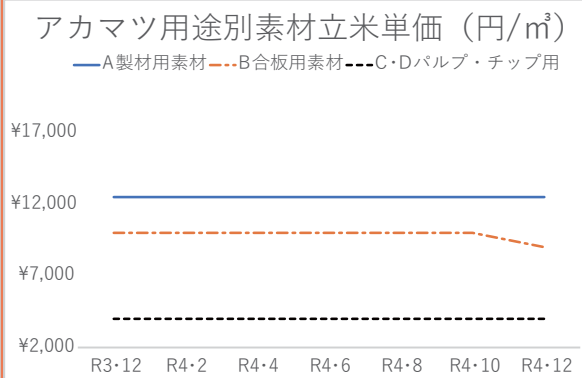
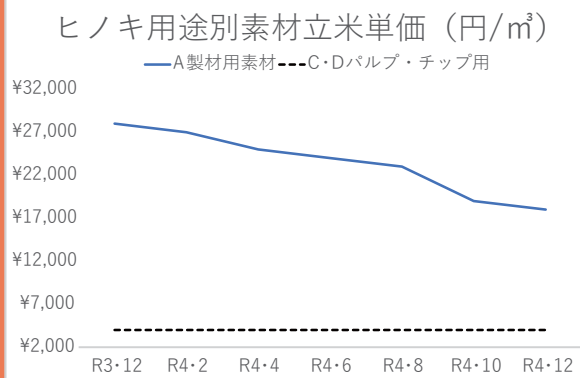
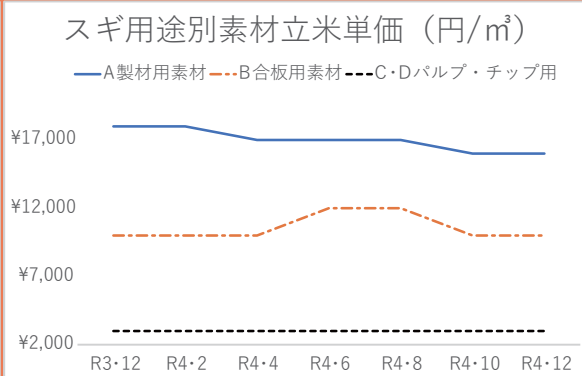
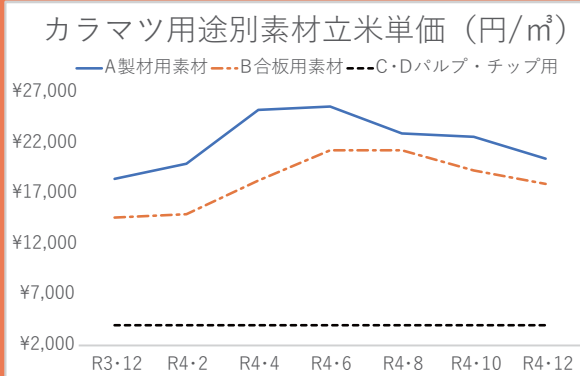
代表理事 星野 勝好
組合長 星野 勝好
小諸市大字平原字四ツ谷原九五十一
☎ (0267) 221-5032
FAX (0267) 221-5045

和合森林組合

代表理事 村澤 博光
組合長 村澤 博光
役員一同



JForest 長野県の木材市況



※北信、中信、伊那木材センターの市況表より作成。

令和四年度 記念市

多くの優良材のご出品、並びに高値でのお買い上げをいただき、誠にありがとうございました。



▲中信木材センターの展示の様子



▲伊那木材センターで最高値が付いたカンバ5.4m(末口52cm)



▲北信木材センターの入礼会場の様子

県森連 HP では市売情報を写真付きで随時更新しております！

最新の市況表もご覧いただけますので、納材や入札の検討にご活用ください！

「長野の林業」のバックナンバーもこちらから♪



長野県森連

